

令和6（2024）年度 九州情報大学所属研究者による研究業績

（掲載は五十音順、令和6年3月から令和7年2月までの間の業績）

麻生 隆史 学長

○寄稿

- ・「日本私立短期大学協会新会長インタビュー」『全私学新聞』第2649号、2024年6月13日付。
- ・「とらのもん往来」『文教ニュース』第2814号、2024年8月5日付。

○取材協力

- ・「短大の廃止状況とその影響等について」『読売新聞』、2025年1月8日付。

荒平 高章 准教授

○学術論文

- ・三枝明日葉、荒平高章、東藤貢「植物組織を骨格とした3次元足場材の作製と評価」『臨床バイオメカニクス』45、2024年、pp.178-181。
- ・森崎絢可、荒平高章、名井陽「三次元多孔質足場材を用いた疾病骨オルガノイドの作製と評価」『臨床バイオメカニクス』45、2024年、pp.174-177。
- ・垣永渉、荒平高章「履修登録支援システムの開発とシステムが与える効果の考察」(P-14)、『工学教育研究講演会講演論文集第72回年次大会(2024年度)』公益社団法人日本工学教育協会、2024年、pp.440-441。
- ・森山海音、荒平高章「STEAM教育を活用した小学生向けAI授業の作成 - お絵描きとAIを組み合わせた授業について」(P-15)、『工学教育研究講演会講演論文集第72回年次大会(2024年度)』公益社団法人日本工学教育協会、2024年、pp.442-443。
- ・スナルマンジュ、荒平高章「メンタルヘルスケア教育の重要性 - 九州情報大学学生へ実施したアンケートを通して」(P-16)、『工学教育研究講演会講演論文集第72回年次大会(2024年度)』公益社団法人日本工学教育協会、2024年、pp.444-445。

○学会発表（計20件、主なものを記す。）

- ・田中走、野中溪人、荒平高章「強化学習を用いた大学陸上競技大会のパフォーマンス向上支援システムの開発」日本機械学会、スポーツ工学・ヒューマンダイナミクス部門講演会、2024年11月15-17日、慶応義塾大学、オンライン。
- ・Tamang, D., Arahira, T., Development and Evaluation of Alginate-Based Bioink for 3D Bioprinting, The International Conference on Biofabrication 2024 (ISBF2024), Nov. 10-13, 2024, Fukuoka, Japan.
- ・荒平高章、瀧本くるみ「アルギン酸／コラーゲン製バイオイंकによる人工骨組織構築の作製と評価」日本臨床バイオメカニクス学会第51回学術集会、2024年11月1～2日、大阪。

- ・荒平高章, 藤元洸希「ジャンルの異なるゲームと知能指数との関係とその応用」ゲーム学会第22回全国大会、2024年3月2～3日、香川。
- ・荒平高章、松本琴美「脳機能活性化のためのゲーム制作～認知症予防効果に対する基礎的検討～」ゲーム学会第22回全国大会、2024年3月2～3日、香川。

○招待講演

- ・荒平高章「ゲームと健康科学の関係とその可能性」「ゲームと教育」研究部会第20回研究会、2024年7月26日、オンライン。
- ・荒平高章、辛川友紀「研究事例の紹介～SDGsに貢献するための植物組織の医療用材料への応用～3Dプリンターによるコーヒーの旨み抽出のためのドリッパー形状の最適化」FOOMA JAPAN 2024 アカデミックプラザ、2024年6月4～7日、東京ビッグサイト。
- ・荒平高章「人工骨様組織構築における足場材および培養環境の設計」第63回日本生体医工学会大会、2024年5月23～25日、鹿児島。

遠藤 真紀 教授

○著書

- ・『事業創造入門』、第3章「ビジネスアイデアの創出」、中央経済社、2024年10月（共著）。

春日 克則 教授

○著書

- ・『非営利法人における収益事業課税の理論と展開—組織の本質的な特徴との関連からの課題—』同文館出版株式会社、2025年1月15日（単著）。

○論文

- ・「非営利法人の収益事業課税の研究—組織の本質的な特徴との関連において—」[学位論文] 博士（経済学）九州大学（経済博甲283号）、2024年3月。

○学会発表

- ・「非営利法人の収益事業課税における資本概念について」税務会計研究学会第36回全国大会、自由論題報告、2024年10月27日（単独）。

ディンダ プラマンタ 助教

○学会発表

- ・Pramanta Dinda, Ninnart Fuengfusin, Arie Rachmad Syulistyo and Hakaru Tamukoh, "YOLO real-time object detection on EV3-Robot using FPGA hardware Accelerator", Proc. 2024 Int. Conf. on Artificial Life and Robotics (ICAROB2024), 2024. (査読あり).

山下 壽文 教授

○著書

- ・単著『日商簿記2級連結会計の解法』 創成社。

○研究報告

- ・「資産負債アプローチの複式簿記への影響」 九州会計研究会、2024年4月13日。